

## 国際会議から

## システムシミュレーションに関する 国際会議 (SIMUL 2019)

本国際会議は、意思決定や数理計画のシミュレーションに関する会議です。第1回が2009年に開催され、それ以降、欧州を中心とした各都市で毎年開催されています。2019年の会議は11回目にあたり、スペインのバレンシアで開催されました。

本会議では、シミュレーションモデルと交通シミュレーションの2つのセッションがあり、筆者は後者のセッションで線路閉鎖時の輸送計画最適化手法に関する発表を行いました(右図)。質疑応答では提案手法の実務での活用性や数理モデルの妥当性に関する質問があり、非常に有益な議論を行うことができました。

各日のはじめに基調講演があり、アメリカ、スペイン、ベルギーなど各国の大学の先生方からシミュレーションを中心とした幅広い分野に関する講演が行われました。また、パネルディスカッションでは、サイバー空間におけるデジタルサービスに関するトピックについて議論が行われました。

本会議が開催されたバレンシアは、マドリッド、バルセロナに次ぐスペイン国内で3番目に大きな都市であり、市街中心部に位置するValència Nord駅(下図)を拠点とした交通網が整備されています。そのため、旧市街地や東側海岸などへのアクセスのよい街でした。



羽田明生

信号・情報技術研究部  
ネットワーク・通信研究室 副主任研究員



バレンシアの主要駅であるValència Nord駅

正式名称：The Eleventh International  
Conference on Advances in  
System Simulation

開催国：スペイン(バレンシア)

期間：2019年10月24日～28日

主催：International Academy,  
Research, and Industry  
Association

開催頻度：毎年

次回開催予定：2020年10月 ポルトガル

ホームページURL：[https://www.iaria.org/  
conferences2019/  
SIMUL19.html](https://www.iaria.org/conferences2019/SIMUL19.html)